

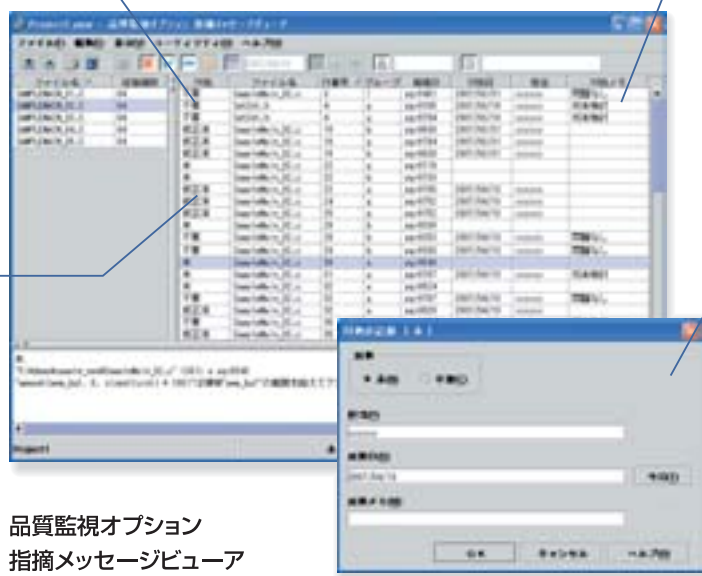
品質の見える化のコア機能 (オプション製品)

検査基準を定義し、ソースコードを自動検証。
プロジェクト全体の品質の見える化を実現します。

機能 1 品質監視オプション:指摘メッセージビューア (開発者向け)

組織全体のソフトウェア品質の底上げを行うには、開発者が個々に行ってきたソースコードの解析結果をプロジェクト責任者が管理し、組織全体の運用方針や品質基準に反映させることが不可欠です。PGReliefは、品質の見える化を実現するさまざまな機能を搭載し、品質管理者との連携や組織全体での運用を支援します。

検出した指摘に対し、
対処の仕方を分類して
集計・表示できます。
◎ 未対処
◎ 修正済み
◎ 修正不要



対処メモには、修正不要とした理由 (抑止理由など) を付記することができます。

対処については、担当、日付ごとに管理できます。

開発者は、わずらわしい初期設定や検査基準を気にすることなく、解析結果の対処だけに専念することができます。

品質監視オプション
指摘メッセージビューア

Webブラウザでも品質監視ができます



ソースコードに対する指摘メッセージを、Webブラウザで閲覧することができます。開発者側にPGReliefをインストールしていなくても、各々の開発者が検証結果を確認できます。

機能 2 品質監視オプション HTML出力 (管理者向け)

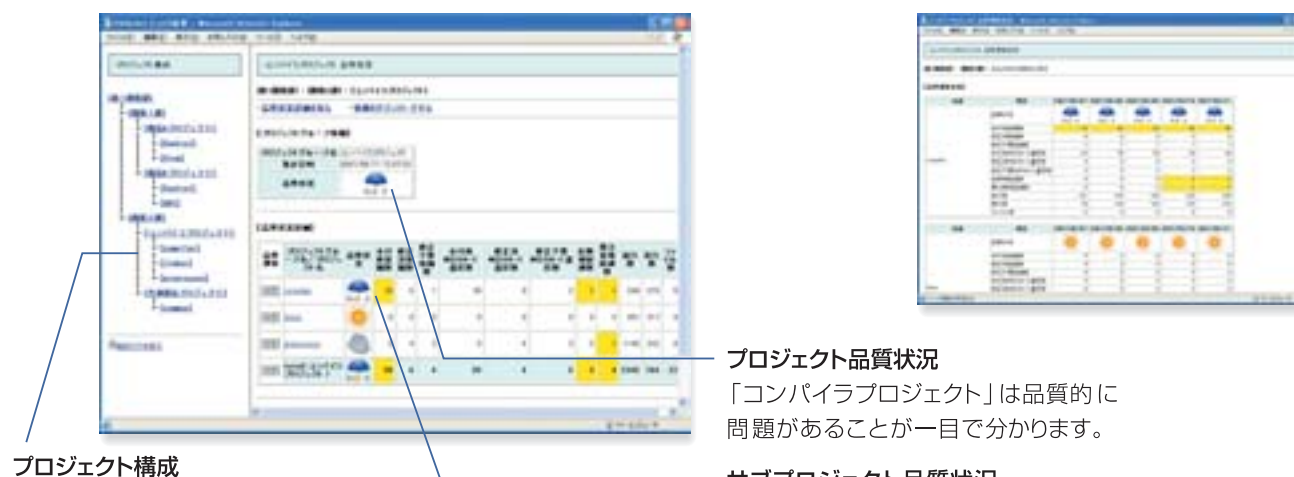
管理者は、Webブラウザで各プロジェクトの品質状況を一目で確認できます。また、どのプロジェクトに品質的な問題があるかなどを客観的・定量的に把握することができます。

プロジェクト品質状況 / サブプロジェクト品質状況

Webブラウザ上で各プロジェクトの品質状況を一目で把握できます。問題の多いプロジェクトやソースコードの欠陥箇所を特定しやすいなど、プロジェクト改善に向けた情報を引き出すことができます。

プロジェクト品質遷移

各プロジェクトの品質遷移状況を出力することができます。品質がどのように改善されているか、その経過を管理者自身が確認でき、従来、開発者からの報告に頼っていた業務を合理化できます。



プロジェクト構成

プロジェクト品質状況
「コンパイラプロジェクト」は品質的に問題があることが一目でわかります。

サブプロジェクト品質状況
「compiler」は品質的に問題があることが一目でわかります。

管理者向け

検査基準の定義

検査指摘定義ファイルの記述例

```

;Rule=PGRelief
a
0638
    
```

aグループおよび0638のルールでチェックすることを定義しています。

PGReliefの運用にあたり、どのルールでソースコードをチェックするのかが設定できます。

一括解析実行



ソース集約サーバにアップされたソースコードを一括解析します。夜間バッチ処理などで効率的な解析が行えます。